

中間評価	事業名	マンションアドバイザー派遣事業		実施団体名	NPO法人岡山県マンション管理組合連合会	事業番号	H27-
	岡山市①	岡山市住宅課	岡村 誠 片山 みき子	岡山市②		事業費	259,200
	団体責任者 役職名氏名	伊東 靖太(会長)	佐藤 好英(副会長)	連携団体		補助金額	207,000
	記入者名			問合せ先 電話番号	086-296-7955	支出経費 9月末概算	

番号	体制・進捗の評価	当初の目標に対する 現在(H27年9月30日)の状況	⇒ 現在の課題は何か	⇒ 課題に対する今後の対策 (今年度中のいつまでに何を行うか)
1	事業はスケジュールに基づいて実施されていますか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報開始時期の遅れ 当初は5月に広報を開始する予定であったが実際は7月から広報を開始した。ただし、6月上旬の時点で遅れの確認とスケジュールの再設計を行っており、以降は目立った遅れは発生していない。</li> <li>・専門家派遣と実態把握の未実施 広報開始から現在までの約3か月間で相談申し込みがないため、派遣、実態把握ともに実施できていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理組合へ情報が届いていない。</li> <li>・マンションの現状と将来に対して管理組合と住民ともに危機意識が顕在化されていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10月25日に開催される「岡山マンション管理基礎セミナー」にて管理組合関係者へ直接案内する。セミナー内で本事業の説明時間とブースを確保する。</li> <li>・マンションの将来課題を可視化する。「老朽化」、「高齢化」、「コミュニティ」の視点から本事業のプレゼンテーション時の資料や各種調査結果などを抜粋した資料(チラシ)を公開して危機意識を煽る(醸成する)。申し込み状況によっては年内に完成させる。</li> </ul>
2	経費は概ね予算どおりに執行されていますか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門家派遣が実施されていないため、支出が発生していない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし。今後、支出額・回数が増えていくことが想定されるため、丁寧な管理に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし。</li> </ul>
3	事業の進捗状況に関係機関等に発信し、積極的に連携を図っていますか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岡管連のウェブサイト及びフェイスブックページにて不特定多数に本事業の情報を発信している。</li> <li>・岡山市のウェブサイト及び「市民のひろば」にて不特定多数に情報を発信している。</li> <li>・10月25日に開催される「岡山マンション管理基礎セミナー」では約150名の管理組合関係者が参加する予定となっており、本事業のねらいや申し込み方法を直接アナウンスする予定である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理組合に情報が届いていない。</li> <li>・今後、大規模な実態把握を展開する場合、大学機関と連携できることが望ましいが、現時点では関係者との接触には至っていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10月25日のセミナーから1週間以内に複数の問い合わせがなかった場合、再度ミーティングを設けて利害関係者のリストアップとアプローチの方法を検討する。</li> <li>・今年度事業の成果が見えた時点で大学関係者に声をかける。</li> </ul>

	事業名	マンションアドバイザー派遣事業	実施 団体名	NPO法人岡山県マンション管理組合連合会	事業番号	H27-
4	団体と担当部署間で事業目標を共有し、次年度以降の展開に向けて協議していますか？	・現状では管理組合等のニーズが顕在化しておらず、本事業の意義が見えない。このままでは次年度以降、専門家派遣を継続することはできない。 ・横浜市のマンション問題により、世間の関心と不安は高まっているはずである。この機会に申し込み・問い合わせがないようであれば、別の手段で問題意識を醸成することを考える。	・管理組合、住民のニーズが見えない(問題意識がない?)。住民のマンションの自治に対する意識が醸成され、声が上がれば大きく状況が変わることも予想されるが...	・上記のとおり、チラシ等の媒体を作成して問題意識の醸成に努める。また、体制・コストの調整が適えば市内マンション(または住民)を対象とした調査の企画を検討する。		
番号	事業に対する評価	当初の目標に対する 現在(H27年9月30日)の状況	⇒ 現在の課題は何か		⇒ 課題に対する今後の対策 (今年度中のいつまでに何をするのか)	
1	アドバイザー派遣	・年間目標10件に対して現時点で0件。	・管理組合へ情報が届いていない。 ・マンションの現状と将来に対して管理組合と住民ともに危機意識が顕在化されていない。		※上記「1」に加えて。 ・まずは1~2件の派遣実績をつくり、モデルとして他の管理組合へ周知する。 ・改修説明会など、様々な機会に宣伝をさせてもらう。年末から年明けまでの機会をリストアップして計画を立てる。	
2	コーディネート	・定量目標はなし。専門家とマンションをつなぎつつ、岡管連の協力者(専門家)と会員(受益者)の拡大につなげる。	・管理組合、住民のニーズが見えない(問題意識がない?)。		・チラシ等の媒体を作成して問題意識の醸成に努める。 ・マンションの将来課題を可視化する。「老朽化」、「高齢化」、「コミュニティ」の視点から本事業のプレゼンテーション時の資料や各種調査結果などを抜粋した資料(チラシ)を公開して危機意識を煽る(醸成する)。申し込み状況によっては年内に完成させる。	
3	実態把握	・年間目標6件に対して現時点で0件。	・当初は人員、予算の都合から「アドバイザー派遣」と合わせてヒアリング(実態把握)を実施する予定であったことからアドバイザー派遣の実績に連動している。		・12月頭の時点で実態把握が0件であった場合、6件のサンプル(マンション)の検討と1か月2件程度のヒアリングを実施する。	
	その他特記事項及びESD・市民協働推進センター等への要望	現 況	課 題		要望・対策(案)	
1	情報発信	・ウェブサイト「つながる協働ひろば」の「モデル事業」ページにて紹介しているのみ。	・相談や派遣の実績に結びついていない。		・フェイスブックの情報をシェアする。 ・プレスリリースする。 ・広報計画・媒体の策定を支援する。	